

開催報告

- ・2025年度「若手研究者支援」(海外調査研究・国際学会発表)応募説明会
- ・「グローバル・リーダーシップ実習 I・II」履修説明会

德音塾

- ・お茶大女性リーダー育成塾: 德音塾 2025年度の活動と開催概要

お知らせ

- ・学生交流イベント「リーダーシップを見つめ直す: 東京の女子大学生たちの対話」
- ・Ocha Summer Program For Global Leaders 2025開催いたします
- ・2025年度グローバルリーダーシップ研究所関連授業(前期)
- ・お茶大人材バンクをご活用ください
- ・グローバルリーダーシップ研究所 新研究所長 挨拶

開催報告

2025年度「若手研究者支援」(海外調査研究・国際学会発表)応募説明会

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍する女性研究者の育成を目的として若手研究者支援プログラムを行っています。同プログラムは、本学の大学院博士後期課程生、みがかずば研究員、ポスドク研究者等を対象とし、【A】海外調査研究および【B】国際学会等での発表に対し海外渡航費の援助を行うものです。

2025年度の公募では、自然科学から人文・社会科学までのあらゆる分野における諸課題に取組む応募者から6名ほどの採用を予定しており、補助金は1件につき30万円を上限としております。

4月10日の説明会には、博士論文のための海外調査を計画する学生や国際学

会発表に採択済みの研究者など31名の参加がありました。説明会では海外に向けて積極的に研究成果を発信しようとする応募者の姿勢がうかがわれ、本プログラムが皆さまの研究活動の一助となることを願っています。

今後、5月中旬に行われる「若手研究者支援」選考委員会による選考審査の後、採択者はそれぞれの課題に取組みます。本プログラムによる研究成果は、随時グローバルリーダーシップ研究所、Webサイトに掲載される予定です。

文責: 倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー)

大学院生、ポスドク向け

海外調査研究や国際学会発表を予定している皆さん!

「若手研究者支援」応募説明会

2025年4月10日(木) 12:30~13:00
📍オンライン (Zoom)

説明会出席申込フォーム

申込料: 4万(税)12割

	【海外調査研究】	【国際学会発表】
支援対象	現地における文献や資料の調査、フィールドワーク、新しい研究・実験手法の修得、国内では困難な実験や装置使用などにかかる送料費(上限30万円)	海外で開催される国際学会での研究発表料、講演、ポスター発表等、本人が発表するものにかかる渡航費(上限30万円)
対象者	大学院博士後期課程学生、ポスドク、研究者等(ただし、条件あり)	
支援期間	2025年6月2日(月)以降に発表し2026年2月27日(金)に帰国することが可能な調査等	
応募期間	2025年4月14日(月)9:00~5月7日(木)23:59	

【問合せ先】グローバルリーダーシップ研究所「若手研究者支援」事務局
E-mail: wakate-shien@cc.ocha.ac.jp

◇webサイトはこちら↓
<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/leadership/groupingmenu/training/index.html>

「グローバル・リーダーシップ実習 I・II」履修説明会

後期開講科目
グローバル・リーダーシップ実習 I・II

2025年度 4/16(木) 18:00

履修説明会 12:20-13:00
開催方式: オンライン開催

リーダーシップ × イタリア実習

※履修科目ですがプログラムとしての履修は機能から離れます。
履修認定は、イタリア実習の修了や履修申請について行われます。
履修申請は必ず申請してください。

履修説明会申込み期限: 4月14日(月) 12:00

お問い合わせ: グローバルリーダーシップ研究所
E-mail: info@leadership.ocha.ac.jp

2025年4月16日および4月18日に、後期開講科目「グローバル・リーダーシップ実習 I・II」の履修説明会を実施しました。本授業は、ソフトスキル向上の観点からリーダーシップを学び、グローバル社会における多様な役割に対応できる基礎的な力を養うことを目的としています。授業の一環として、2026年2月頃に本学協定校であるイタリア・パヴィア大学の女子カレッジ Collegio Nuovoにおいて、リーダーシッ

プやソフトスキルに関する海外研修の実施を予定しています。説明会では、授業の概要、イタリアでの実習スケジュール、奨学金制度の詳細について紹介したほか、過去の履修生による体験談も共有されました。

文責: 張 潔
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

追加! 履修説明会開催決定!
6/12(木) 12:20より
詳細はIGL Webサイトにて!

2025年度の徽音塾では、多様な分野でリーダーシップを発揮することをめざす女性を応援するための学びと交流の場として、質の高い講座と交流会（ネットワーキングランチ）を行っています。

今年度の講座の特色は、女性のリーダーシップにかんする内容を、女性のエンパワーメントとリーダーシップ、プロフェッショナル・レクチャー、ビジネスの各講座において開催している点にあります。また、一つの講座のなかで講義と実践的な内容の講演を組み合わせたセット講座も新たに開設します。講座の枠組についても、塾生の皆さまのライフスタイルに合わせた受講が可能となるように、講義時間（90分／180分）や開催場所（対面／オンライン）をお選びいただけるようになっています。リニューアルした徽音塾にて皆さまのご参加をお待ちしております（開講講座一覧表を掲載ください）。

文責：倉脇 雅子
（グローバルリーダーシップ研究所
特任アソシエイトフェロー）

5月10日（土） 2025年度開講式を開催しました！

当日は、塾長の告辞にはじまり、実施委員の先生方からのご挨拶と塾生皆様からの抱負をいただきました。多くの皆さまのご参加に感謝申し上げます。今年度の徽音塾もどうぞよろしくお願い申し上げます。



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

2025年度 開催概要

最新情報については、Webサイト、Xをご覧ください
※ PCでの受講を推奨します
※ 1科目から受講いただけます
※ 各科目、開講の2週間前まで申込を受付けています



Webサイト



X

お知らせ

学生交流イベント「リーダーシップを見つめ直す：東京の女子大学生たちの対話」

グローバルリーダーシップ研究所では、ノースウェスタン大学および東京大学と連携し、リーダーシップの再定義を目的として、学生交流イベントを開催します。

本イベントでは、様々なバックグラウンドを持つ女性大学生たちが、自身のリーダーシップに関する実体験や課題意識をもとに意見を交わします。お茶の水女子大学や東京大学の学生によるグループワークやディスカッションを通じて、「リーダーとはどのような人か」「私たちは何を大切にリーダーシップを発揮していきたいのか」といった問いに向き合いながら、多様な価値観や考え方に触れ、対話を深めていきます。グローバルな視点とローカルな実感が交差するこの貴重な機会に、ぜひご参加ください。

詳細および申込方法については、後日、研究所ウェブサイトにてお知らせします。

文責：張 潔
（グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）

	区分	日付	曜日	講義タイトル	講師(敬称略)
NEW	E01	5/10	土	国境を越えた社会起業家としてのあゆみールッキズムについて考えようー	前川 裕奈
NEW	E02	5/24	土	人的資本経営のトレンドと主要トピックスー要点解説と考える視点ー	大和田 順子
	P01	6/7, 14	土	CN/GXの最前線ー脱炭素社会の実現を目指してー	松田 有希
NEW	P02	6/21	土	教育の課題をジェンダーの視点から考える	小玉 亮子
NEW	E03	7/5	土	日本の女性の働き方はどう特徴づけられるのか	永瀬 伸子
NEW	E04	7/12	土	しなやかに組織で道を切り開く	矢島 美代
NEW	B01	7/19, 26	土	ビジネスリーダーのための会計入門	成岡 浩一
NEW	B02	8/2, 23	土	新規事業開発と起業の基本ー事業化のカナメー	鹿住 倫世・駿河 かおり
NEW	P03	8/8	金	組織における女性リーダー育成ー日本企業の課題ー	寺村 絵里子
	B03	9/6, 20	土	リーダーのためのコーチング講座	重次 泰子
NEW	P04	10/4	土	イノベーションの創出ー建築デザインを通して考えるー	後藤 武
	B04	10/18, 25	土	マーケティング入門	神原 理
NEW	E05	12/6, 13	土	経営戦略としてのコーポレートガバナンス	田中 亨子
	P05	1/17, 24	土	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍

4月10日「女性の日」
 德音塾が毎日新聞に記事を掲載いただきました！



「個性」を磨いて自立した女性を育成 「女子大学」特集

Ocha Summer Program For Global Leaders 2025開催いたします

2025年度は、7月22日～8月5日（一部7月7日からオンライン）に本学キャンパスで開催します。海外協定校等から多様な国の留学生を受け入れ、本学学生も履修できる本プログラムでは、日本人学生と留学生が共に学び、協働する経験を提供していきます。

同プログラムは日本語コースと専門コースの2つのコースから構成され、前者は留学生を対象に日本語学習初心者から1～2年の学習歴のある学生が参加できるように初心者・初中級・中級コースの3つのレベルの少人数クラスを設置しています。後者は、3つの専門コース

- (1) Current Issues in Japanese Culture and Society under Globalization
- (2) Exploring and Creating Fulfilling and Healthy Human Life in Modern Society

- (3) Diverse Fields and Key Ideas of Natural Science

のフィールドスタディーを含む講義とプロジェクトワークが履修できるコースとなっています。3つの専門コースでは、専門教員がテーマに沿った授業をオムニバス形式で行います。プロジェクトワークは留学生と本学学生がグループに分かれ、共同作業をしながらグローバル課題に取り組みます。授業はオンラインと対面で構成されており、プログラム最終日には成果発表を行います。

ボランティア学生による文化交流活動も企画され、創立150周年記念事業コラボレーション 特別講演会も行う予定です。

文責：長塚 尚子
 (URAリエゾンセンター URA)

2025年度グローバルリーダーシップ研究所関連授業（前期）

グローバルリーダーシップ研究所 (IGL) では、2025年度前期に以下の授業の開講を予定しています。後期の授業については次回のNewsletterに掲載いたします。

授業名	開講時期	内容
お茶の水女子大学論 [25A0019] (学部)	水曜 9・10限	お茶大の歴史を学び、お茶大の今を知り、自らの未来を描くための授業です。 ・お茶大の歴史、お茶大生の特徴、学内のインターンシッププログラムの紹介 ・学長講演 ・特別講演 ・お茶大卒業生のロールモデル講演 ・企業や起業の基礎に関する講義
キャリア開発特論（基礎編） [25S2006] (大学院) 総合コース [25A0034] (学部)	5/17,31, 6/14,28, 7/12	アクセントア株式会社協力のもと、本学卒業生を含む同社社員による講義や、社員と学生とのグループワークを通して、仕事、キャリア、グローバル人材とは何かについて学び考え、自らのキャリアプランを考えることを目的としています。

お茶大人材バンクをご活用ください

「お茶大人材バンク」とは、お茶の水女子大学の教職員が求める補助的業務（研究・実験・事務補助・イベント等、謝金支払い又は非常勤職）を、本学の大学院生（博士前・後期課程在学学生）・卒業生・修了生の皆様へ紹介するシステムです。

2025年度に入り、あらたに登録者も増えています。人材を求めている方、学内で働きたいと思っている方はぜひご活用ください。ご依頼、ご登録お待ちしております。



【問合せ先】お茶大人材バンク事務局
(グローバルリーダーシップ研究所)
E-mail: jinzai-bank@cc.ocha.ac.jp

学生用 Ochadai Jinzai Bank
お茶大 人材バンク
まずは登録してみよう！➡

大学院生・卒業生・修了生の皆様へ

お茶大人材バンクとは？
お茶大の教職員の研究・実験・事務補助・イベントなど補助的業務（謝金払い又は非常勤業務）を紹介させていただくシステムです。ぜひご登録ください。

業務内容は何なんものがある？
学部助手室アカデミック・アシスタント、附属小学校授業補佐実習準備補佐、学内イベント補助、データ入力、校正、実験補助などいろいろあります。

お茶大人材バンクの申し込みはこちら

教職員用 Ochadai Jinzai Bank
お茶大 人材バンク
ご活用ください！

本学教職員の皆さまへ

お茶大人材バンクとは？
お茶大の教職員の研究・実験・事務補助・イベントなど補助的業務（謝金払い又は非常勤業務）を、本学の大学院生やお茶大OGに依頼できるシステムです。

業務内容は何なんものがある？
学部助手室アカデミック・アシスタント、附属小学校授業補佐実習準備補佐、学内イベント補助、データ入力、校正、実験補助など

業務を依頼したい場合は、お茶大人材バンクまでご連絡ください。

お茶大人材バンクの申し込みはこちら

グローバルリーダーシップ研究所 新研究所長 挨拶

／よろしくお願ひします！／



グローバルリーダーシップ研究所
研究所長 棚谷 綾
(基幹研究院 自然科学系 教授)

早いもので、本学に着任してから19年が経とうとしています。助教授（今の准教授）として理学部で研究室を立ち上げ、最初の10年間は、研究を軌道にのせ学生を育てることに邁進し、その後の10年間は、出産や子育てを経験しつつワークライフバランスとそのあり方に向き合うことになりました。これらの年月を経て、私はお茶大に育てて頂き、そろそろ恩返しする時期であると実感していた矢先の、本研究所所長の拜命でした。

お話がきた当初はお引き受けする自信がありませんでしたが、本職が私の次の10年の始まりなのではないかと、運命に身を任せることにいたしました。就任してまだ数週間ですが、文系の方達や研究所の方々との新たな交流が生まれ、予想もしなかった興味深いお話を伺ったりと、私にとって新しい世界の始まりでした。

研究所の課題やプロジェクトを皆さんと検討して進めながら、私自身も新しい物事を学び、結果としてリーダーシップの育成につながれば理想的だと感じております。

どうぞよろしくお願ひいたします。